

議会改革フォーラムin生駒

5月1日、たけまるホールで開催された「議会改革フォーラムin生駒」(「政策ネットワーク なら・未来」主催)に参加。連休の合間の平日夜という出にくい時間帯にもかかわらず、議会制度研究の第一人者の廣瀬克哉・法政大学法学部教授のお話をうかがえる機会でもあり、市内外から多くの方が参加され、ほぼ満席でした。

ちょうど生駒市議会では「生駒市議会の運営及び議員活動に係る基本条例(議会基本条例)」のパブリックコメントをとっている最中でしたが、廣瀬教授からは、奈良県



内の市で議会基本条例を先行して制定している天理市議会、奈良市議会の条例と比較し、「生駒市の条例案は、理念的なことはすでに自治基本条例に書いてあるので、『実行すること』を先行させており、簡素だけど実効性はある。」というご評価をいただきました。たしかに実行できなければ意味のないものですが、理念に基づいてもう少し背伸びできないものか?と思わないでもありません。



政策形成能力短期研修

5月18日・19日は、私も企画段階から携わっている政策形成能力短期研修(龍谷大学エクステンションセンター、龍谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンター共催)に参加。実際に行った一般質問の失敗事例を持ち寄り、学識アドバイザーや行政アドバイザーとともに参加者全員で「ここはこうしたほうがいい」などと指摘しあうことで自らの課題に気づきを得る、というプライドの高い議員さんには参加のハードルが高い研修です。これまでに4回開催し、毎回自らもこの研修を受け、ユーザーとして次の開催に向けてプログラムの改善を図っています。

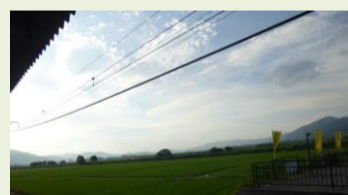


プログラムもかなり成熟し、今や大津市議会の議員研修に使っていただいたり、今夏は滋賀県市議会議長会の議員研修にも!奈良県市議会議長会もありきたりの講演でなく、こういう実践的な研修を導入してほしいものです。

直接請求署名活動のお手伝い

友人の議員さんの選挙の応援に行くことも多い私ですが、あわせて多いのは直接請求活動をしている市民団体からのご相談です。

7月7日は京都府亀岡市へ。ここは市がサッカー場建設予定地として購入し京都府に無償提供しようとしている土地が生態系と治水に影響を及ぼすとして、市民団体が事業実施にあたっては住民投票にかけるべきと住民投票条例制定の直接請求署名活動を展開しようとされています。いつものように署名収集の成功の秘訣を「伝授」してまいりましたが、最近では相談件数も増え、直接請求運動の敷居が低くなってきたなあ、と実感しています。



(亀岡駅ホームより建設予定地方面を臨む)

暑い日が続きます。

参議院選挙ではネット上でいろんな候補者の街頭宣伝の写真や映像が流れてきましたが、本当にみなさん暑くて大変そうでした。夏の選挙だけはご免こうむりたいと常々思います。(冬は冬でまた同じことを言っていますが…)

しかし、室内にいてもエアコンを入れない限り暑いのは同じです。発行コストを抑えるため原稿作成からレイアウトまですべて自分でやるのですが、うだるような暑さのなか、記事を書く頭も作業をする手も動きが滞りがちでした。

一方で夏は少しまとまって充電できる時期でもあります。研修会にもどんどん参加して、市政に役立つさまざまな情報を吸収してまいりたいと思います。



塩見の議会報告会&塩見との意見交換会

日時: 8月11日(日) 13:30~15:30

場所: コミュニティセンター(セイセイビル)

206 会議室

- ・6月定例会のご報告
- ・議会改革について
- ・その他、市政・議会運営の状況について

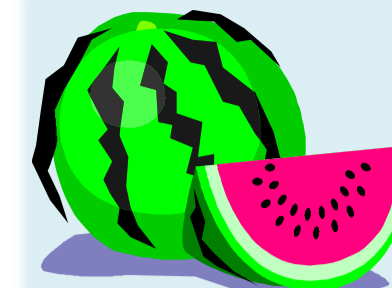
ツイッターやっています。携帯からは右のQRコードでお読み取りください。塩見まきこの活動日記(ブログ) <http://katudo403.exblog.jp> からご覧いただけます。



議会と行政にホンモノの緊張関係を!

しおみ
塩見まきこ

市議会ニュースレター



2013年 夏号

発行責任者:塩見牧子 〒630-0213 生駒市東生駒1-215-402 TEL:0743-75-3403 FAX:0743-74-8518 e-mail:shiomi753@yahoo.co.jp

生駒市議会の新体制決まる!

~5月臨時会~

生駒市議会は、5月9日に開催された臨時会において新議長、副議長の選挙を行い、議長に中谷尚敬議員、副議長に桑原義隆議員が選出されました。また議会選出の監査委員の選任、議会運営委員会と常任委員会委員の所属変更、選任を行い、それぞれの委員会において正副委員長を選出しました。

そのほか、市長提出議案として一般会計補正予算案が提出され、議長を除く全議員による予算委員会での審査を経て、全会一致で可決しました。

*議長選挙は勢力争いの場?

1年のうちで多くの議員が最も熱くなるのが正副議長選挙。私もかつて会派を組んでいた時には「場外」で夜遅くまで会派間交渉をしたことも。

議長は議会を代表する要職ですから、公平に円滑に議事運営ができ、対外的にも適切に対応できる方でなければなりません。そういう能力ある議長を選ぶという意味で議長選挙に「熱く」なることは理解できることです。

しかし、実際のところ議長選は、そのような議長としての資質を競うのではなく、会派間の勢力争いの場となってきた感が否めません。

*なぜこの人なのかわからない

私は、議会が行政監視機能や政策提案機能を最も発揮できるよう議会運営を行える方こそが議長にふさわしいと考え、議長候補にはその実現のための具体的な方針を市民に見える場で表明していただきたいと考えています。

しかし今の議長選挙では、「議会」がなぜその人を選んだのかが市民にはわかりません。塩見は昨年の議会改革特別委員会において議長選挙における所信表明の導入を浜田委員と提案しましたが、賛成少数で否決。今年度も選出理由がわからないまま議長選挙が行われました。

*誰が候補にあがっているのかもわからない

それ以上に困ったのは、今回どこからも投票依頼のお声掛けもなく、投票の段になって誰が候補にあがっているのかさえ見えなかったことです。白票を投じるよりはと自分の名前を書き、議長選に「参戦」したものの、あえなく敗退しました。(^_^)

副議長選挙は、議長選が行われている間に、隣の席の浜田議員に党内での副議長候補をお聞きしたところ浜田議員であるとのことでしたので、ともに議会改革に関するさまざまな提案をしてきた経緯もあり、相乗りさせていただきました。

■正副議長選挙の結果(敬称略)

議長選挙	票数	副議長選挙	票数
中谷尚敬(凜翔)	13票	桑原義隆(無会派)	13票
角田晃一(市民派クラブ)	6票	吉波伸治(市民派クラブ)	6票
上原しのぶ(日本共産党)	3票	浜田佳資(日本共産党)	4票
塩見牧子(無会派)	1票		

また、今年度、塩見は議員になって初めての都市建設委員会委員に。実は最も苦手な分野で専門性を活かすもなにもあったものではありませんが、オールラウンドプレイヤーを目指してしっかり勉強してまいります。

3月議会で可決したばかりなのに、もう補正? ~予算委員会から~

議長選も大事ですが、議案の審査をおろそかにするわけにはいきません。5月臨時会には平成25年度一般会計予算の補正予算案が提出されました。補正の内容は、地方債の借り換えと民間保育園の分園開設(東生駒駅前ミスタードーナツ跡)に伴う施設整備費補助金の補正。前者は、借り換えによって約2000万円の利子が軽減でき、後者は特に多い0~2歳児の待機児童の解消に資するものです。しかし、当初予算が可決してからからわずか1か月後の補正であったため、どのような新たな事実が発生してこの時期の提案であるのかを確認したうえで、前者については地方交付税の額面への影響の有無、後者については良好な保育環境が担保できるのかどうかを質疑。前者は予算提出の時点ではまだ金融機関との交渉中であり、交付税等への影響はないとのこと、後者は4月以降に事業者から申し出があり、認可の基準を満たしていることが確認できましたので賛成しました。